

Corporate identity

世界中の人々から 常に必要とされる企業を創る

2020年11月期 決算補足説明資料

株式会社トゥエンティフォーセブン

2021年1月



twenty-four seven Inc.
株式会社トゥエンティフォーセブン

■ **2020/11期 決算概要**

■ **新型コロナウイルス感染症対策**

■ **新商品発売**

■ **2021/11期 決算見通し**

2020/11期 決算概要



twenty-four seven Inc.
株式会社トゥエンティフォーセブン

24/7
Workout
トウェンティフォーセブン
ワークアウト

24/7
ENGLISH
トウェンティフォーセブン
イングリッシュ

24/7Workout

1 Q	✓	12月6日 :	24/7InfinityFitness新宿店	新規OPEN
	✓	2月7日 :	24/7Workout大阪心斎橋店	増床OPEN
	✓	2月13日 :	24/7Workout関内店	新規OPEN
	✓	2月18日 :	24/7Workout宇都宮店	増床OPEN
	✓	2月27日 :	24/7Workout立川店	新規OPEN
<hr/>				
2Q	✓	3月12日 :	24/7Workout北千住店	増床OPEN
	✓	3月31日 :	24/7Workout蒲田店	増床OPEN
<hr/>				
3Q	✓	6月3日 :	24/7Workout本八幡店	新規OPEN

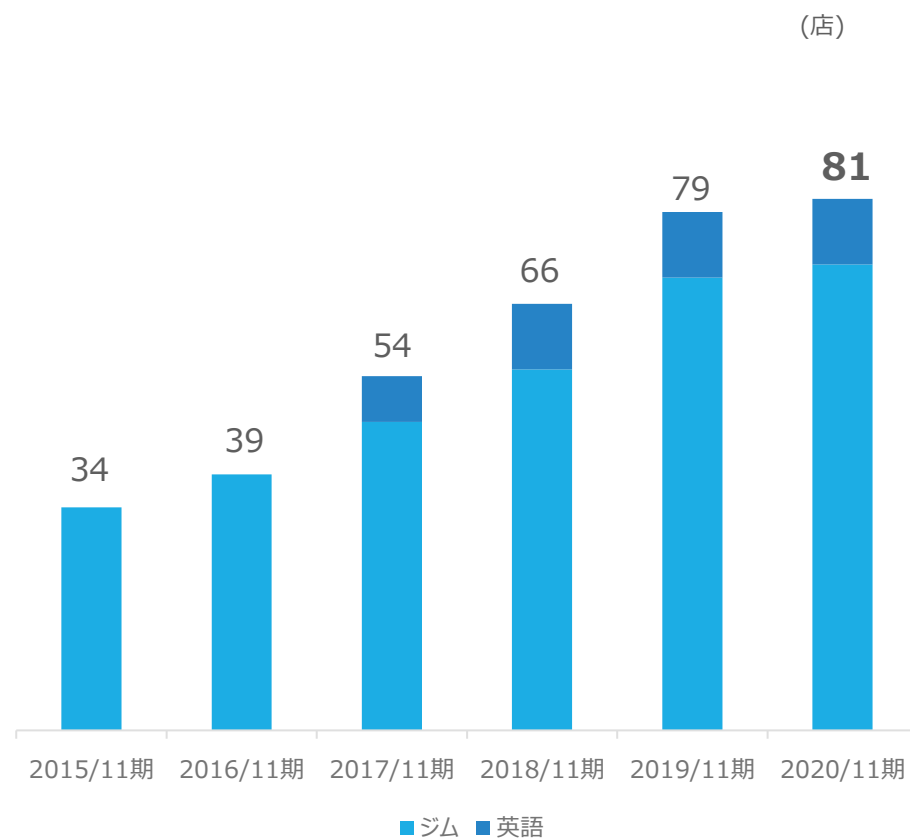
● 収益性の高い物件を見極め店舗計画をより慎重に検討

現在の地域別国内店舗網



(2020年8月末現在)

店舗出店状況



(店)

- 2Q会計期間(3~5月)の4、5月は新型コロナウイルス感染症の拡大による店舗の臨時休業により売上高は大幅減少
- 3,4Q会計期間の売上高は1Q並みに回復、4Q会計期間の経常利益は黒字に回復
- 当社の3大コストである労務費、広告宣伝費、地代家賃についてコストのコントロールを図るも利益は赤字
- 雇用調整助成金を営業外収益と特別利益に合計76百万円を計上(3,4Q会計期間)
- 店舗の臨時休業期間中に発生した売上原価の固定費237百万円は、特別損失として計上(2Q会計期間)
- 減損損失260百万円を特別損失として計上(3,4Q会計期間)

(百万円)	2020/11期			
	1Q 会計期間	2Q 会計期間	3Q 会計期間	4Q 会計期間
売上高	1,633	790	1,574	1,702
売上原価	872	513	740	805
売上総利益	760	276	833	896
売上総利益率	46.5%	34.9%	52.9%	52.6%
販売費及び一般管理費	1,004	695	1,199	881
営業利益又は営業損失(△)	△243	△418	△365	14
営業外収益	0	2	10	16
経常利益又は経常損失(△)	△243	△416	△355	30
経常利益率	△14.9%	△52.7%	△22.6%	1.8%
特別利益	0	-	57	-
特別損失	0	243	126	133
税引前四半期純損失(△)	△243	△659	△424	△103
四半期純損失(△)	△123	△524	△759	△92

- ※ 1 : 前期比 : 2020年4、5月の店舗の臨時休業により売上高は大幅減少
- ※ 2 : 予想比 : 主に広告宣伝費を予想より使用せず減少
- ※ 3 : 当期実績 : 雇用調整助成金を営業外収益と特別利益に合計76百万円を計上
- ※ 4 : 当期実績 : 店舗の臨時休業期間中に発生した売上原価の固定費237百万円は、特別損失として計上
- ※ 5 : 当期実績 : 減損損失260百万円を特別損失として計上

(百万円)	2019年11月期		2020年11月期		比較		
	実績	修正予想	実績	予想比 差異	前期比		
					差異額	差異率	
売上高	7,697	5,736	5,700	▲36	▲1,997	▲25.9%	※1
売上原価	3,305	2,999	2,932	+67	+373	+11.3%	
売上総利益	4,391	2,737	2,767	+30	▲1,624	▲37.0%	
売上総利益率	57.0%	47.7%	48.5%	+0.8pp		▲8.5pp	
販売費及び一般管理費	3,400	3,904	3,781	+123	▲381	▲11.2%	※2
営業利益又は営業損失(△)	991	△1,166	△1,013	+153	▲2,004	▲202.2%	
営業外収益	0	28	28	+0	+28	-	※3
営業外損失	20	-	-	-	+20	-	
経常利益又は経常損失(△)	971	△1,138	△984	+154	▲1,955	▲201.3%	
経常利益率	+12.6%	△19.8%	△17.3%	+2.6pp		▲29.9pp	
特別利益	0	57	57	+0	+57	-	※3
特別損失	16	369	503	▲134	▲487	▲3043.8%	※4,5
税引前当期純利益 又は税引前当期純損失(△)	955	△1,450	△1,430	+20	▲2,385	▲249.7%	
当期純利益 又は当期純損失(△)	583	△1,540	△1,500	+40	▲2,083	▲357.3%	

※ + : 利益に対して有利、▲ : 利益に対して不利

場所	用途	種類	減損損失 (千円)
東京都渋谷区	[24/7Workout]、 [24/7InfinityFitness] 店舗	建物等	78,997
大阪府大阪市浪速区	[24/7Workout] 店舗	建物等	71,147
鹿児島県鹿児島市	[24/7Workout] 店舗	建物等	12,461
東京都渋谷区等	[24/7English] 事業	建物等	98,011

- ✓ 「24/7Workout」店舗については、経営の効率化・合理化を目的として店舗の移転による閉鎖を決定したため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。
- ✓ 「24/7InfinityFitness」店舗については、収益性が著しく低下しているため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。
- ✓ 「24/7English」事業については、経営の効率化・合理化を目的として、統廃合による閉鎖予定の教室、収益性が著しく低下した教室及び共用資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

※2019/11月期2Qは上場前であるため非開示

(百万円)	2019/11期	2020/11期	増減額
	4Q末	4Q末	
流動資産	3,724	2,205	△1,519
現金及び預金	3,332	1,708	△1,623
未収還付法人税等	-	130	+130
その他流動資産	391	365	△26
固定資産	1,824	1,629	△195
有形固定資産	1,307	1,119	△187
無形固定資産	120	135	+15
投資その他の資産	396	374	△22
資産合計	5,549	3,834	△1,714
流動負債	1,594	1,353	△241
未払金	217	199	△17
未払費用	253	189	△64
未払法人税等	200	19	△180
前受金	710	778	+67
その他流動負債	212	165	△46
固定負債	287	313	+26
資産除去債務	287	313	+26
負債合計	1,881	1,667	△214
株主資本	3,667	2,167	△1,500
純資産合計	3,667	2,167	△1,500

主に税引前純損失、税金の支払い及び固定資産の取得による支出により減少

当期純損失のため「未収還付法人税等」の発生

減損損失の計上により減少

当期純損失のため「地方税均等割」のみの発生

(百万円)	2019/11期	2020/11期
	4Q累計	4Q累計
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	955	△1,430
減価償却費	133	180
減損損失	15	260
売上債権の増減額(△は増加)	△75	79
前受金の増減額(△は減少)	△83	67
法人税等の支払額	△459	△309
その他	△48	△165
営業活動によるキャッシュ・フロー合計	438	△1,318
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△451	△215
無形固定資産の取得による支出	△63	△68
その他	△101	△22
投資活動によるキャッシュ・フロー合計	△615	△305
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	1,562	-
上場関連費用の支出	△10	-
財務活動によるキャッシュ・フロー合計	1,552	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,375	△1,623
現金及び現金同等物の期首残高	1,957	3,332
現金及び現金同等物の期末残高	3,332	1,708

主に店舗の臨時休業による赤字により、営業CFはマイナス

主に店舗新規出店、増床による支出



新型コロナウイルス感染症対策



twenty-four seven Inc.
株式会社トゥエンティフォーセブン

24/7
Workout
トウェンティフォーセブン
ワークアウト

24/7
ENGLISH
トウェンティフォーセブン
イングリッシュ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため店舗の臨時休業を実施、現状は通常営業を継続

当社では、政府による「緊急事態宣言」の発出及び各都道府県における「施設の休業要請」を受け、2020年4月8日以降、店舗の臨時休業を順次行ってまいりました。

その後、2020年5月10日以降は各都道府県における段階的な「施設の休業要請解除」を踏まえ、感染予防に最大限留意した上で店舗を順次再開し、2020年6月2日には直営全店舗を再開いたしました。なお、現時点においてはフランチャイズ店舗含めて全店舗の営業を再開いたしております。

一方、2021年1月には、感染者数が急増する地域において再び「緊急事態宣言」が発出されたことに伴い、経済活動の自粛を余儀なくされることから、その影響が継続することが予想され、今後の感染拡大、収束時期、収束後の市場及び消費者動向には相当程度の不確実性があります。

臨時休業による損失

店舗の臨時休業期間中に発生した売上原価の固定費（労務費・地代家賃・減価償却費等）を臨時休業による損失として、特別損失に237百万円計上しております。

雇用調整助成金

雇用調整助成金76百万円は、上記の臨時休業による損失に対応する部分は特別利益に、それ以外の部分は営業外収益に計上しております。

新型コロナウイルス感染拡大予防策に最大限留意し、お客様に安心してトレーニングしていただけるよう、そして、従業員が安心して働けるよう取り組みを徹底したうえで、通常通り営業を継続しております。

1. 店舗トレーナーにおける徹底事項

- (1) 受付・トレーニングジム・カウンセリングルーム・更衣室・シャワー室の換気・消毒・除菌・清掃の徹底。
- (2) マシン・ダンベル・体組成計等、お客様が触れる器具の消毒の徹底。
- (3) 店舗内における高精度次亜塩素酸除菌水の噴霧。
- (4) 受付・カウンセリングルームの飛沫防止パネル等の設置。
- (5) 手洗い・うがい・消毒の徹底。(出社時、毎セッション、プロテイン提供等のお客様対応時)
- (6) お客様対応・受付・セッション提供時におけるマスク・フェイスガードの着用。

2. ご利用いただくお客様へのお願い

- (1) お客様と従業員の安全確保のために、問診票の記入、マスク着用、手洗い・うがい・消毒等にご協力いただいております。
- (2) 3密（密閉、密集、密接）を回避するため、セッション予約時間、トレーナーの出勤に制限を設けさせていただく場合がございます。既にご予約済みのセッションに関しましてもお時間・担当トレーナーの変更をお願いする場合がございますので、ご了承いただきますようお願い申し上げます。
- (3) 以下の項目に当てはまる場合、お客様と従業員の安全確保のために、来店をお断りいたしておりますので、ご理解ご協力いただきますようお願い申し上げます。
 - ① 現在、解熱剤などを内服している。
 - ② 息苦しさ、強いだるさ、高熱などの強い症状がある。
 - ③ 発熱や咳など、比較的軽い風邪の症状が続いている。
 - ④ 現在、下痢や嘔吐の症状がある。
 - ⑤ 来店時に問診票への記入を拒否する。
 - ⑥ 直近2週間以内で、感染ルートとなりえる海外・国内への渡航、旅行、出張がある。
 - ⑦ 直近2週間以内で、感染の可能性が疑われる場所への渡航、旅行、出張等の履歴がある方との接触がある。

当社の3大コストである

「人件費(労務費含む)」、「広告宣伝費」、「地代家賃」を以下の通りコントロール

✓ 人件費(労務費含む) :

- ・臨時休業店舗のトレーナー及び講師、並びに一部本社社員について休業を実施し休業手当を支給。雇用調整助成金の受給手続きを実施

- ・役員報酬について、以下の通り自主返上

代表取締役社長 : 月額報酬の100%(所得税等の控除項目を除く)

取締役(社外取締役を除く) : 月額報酬の 20%

✓ 広告宣伝費 :

広告出稿を戦略的にコントロールしCPAを維持

※CPAとはCost Per Acquisitionの略であり、コンバージョン1件あたりにかかった広告の費用対効果を示す指標です。

なお、当社では無料カウンセリング申込をコンバージョンとして定義しております。

✓ 地代家賃 :

全店舗の店舗物件貸主に対して家賃の減額又は支払の繰り延べ交渉を実施

オンラインサービスを実施

店舗における新型コロナウイルス感染症対策は万全を期しておりますが、新しい生活様式に対応したオンラインサービスも実施しております。

「24/7Workout」、「24/7English」ともにオンラインでレッスンを受講することができる環境を整備するとともに、新たに1:Nのライブレッスン型オンラインフィットネスサービス「24/7Online Fitness」(<https://www.247-onlinefitness.jp/>)及び日本人講師の学習指導付きオンライン英会話サービス「BSS英会話」(<https://247bss.jp/>)開始いたしました。

「24/7Online Fitness」は、「あなたの自宅がいつでもフィットネススタジオに」をコンセプトに「24/7Workout」の一流トレーナーによるライブレッスンを、オンラインで受けられるサービスです。レッスンを予約制とすることでお客様が継続(習慣化)しやすく、オンラインであってもジムに通っている感覚でレッスンを手軽に受けることができます。また、会員登録申し込み手続きから予約、レッスンまでの全てを一貫してオンラインで行うことができる、感染リスクや周りの目などを気にせず、低価格で始められる「気軽さ」が強みです。



「BSS (Bilingual Study Support)英会話」は、「ネイティブ講師×バイリンガル講師」を特徴とし、コンサルティング付きで低価格、最適なオリジナルカリキュラムを提供するオンラインコーチング英会話サービスです。

低糖質食品通販事業を開始

当社は、管理栄養士や外部のフードコーディネーターの監修のもと、短期間で健康的に痩せることを目的とした低糖質食品通販事業を立ち上げ、ECサイト「24/7DELI & SWEETS」(<https://247deli.jp/>)を開始いたしました。

現在、低糖質のデリ、スイーツ、パン、おにぎりの4種類の食品を販売しております。たとえ低糖質であっても続けられなければ意味がないと考え、商品開発の際には、市場にある既存の低糖質商品の「おいしくない、味が薄い、量が少ない」といったイメージを覆す、味や食べ応え、満足感に徹底的にこだわりました。さらに、主食となるパンやおにぎり、おかずとなるデリ、間食に最適なスイーツと、単品展開でなく、包括的なラインナップを提供することにより、おいしく楽しい糖質制限ライフを可能にします。

また、昨今、新型コロナウイルス感染抑止のため自宅を中心とした活動に変わることによって、運動量が減り、結果的に体重が増加してしまう「コロナ太り」を防ぐため、糖質制限にさらに注目が集まっております。

日ごろからボディメイクをされているお客様だけでなく、このような状況下で運動不足を課題と感じる一般消費者の皆様にも、ご自宅でおいしく楽しく、体型管理をサポートできる商品をお届けしてまいります。

24/7 DELI & SWEETS



新商品発売



低糖質×たんぱく補給ゼラート

新発売となるゼラート「Yummy Cup (ヤミーカップ)」は、糖質最大1/2カット(※)・たんぱく質10g配合・カロリー最大30%カット(※)で、糖質制限中でもおいしく食べられる上に、体内の余分な体脂肪を燃焼させながら、筋肉量を落とさず代謝の良いからだになるための「たんぱく質」を補給できる贅沢なダイエットスイーツです。

さらに、おいしさを追求すべく、フランスで修業し、有名パティスリー PIERRE HERMÉ PARIS でチョコレート部門の責任者も務めた岩崎卓也シェフがその目で吟味した素材を使い、本場の技術を活かしながら、ひとつひとつ手作りで、特別なゼラートを完成させました。



※：「日本食品標準成分表2015年（七訂）アイスクリーム(普通脂肪)」(文部科学省)とヤミーカップマルチーソイミルクとの比較



カレーピラフおにぎり、ごまパン、ほうれん草パン

低糖質おにぎりとパンは、2020年の1月～3月の販売開始以来、販売好調で多くのダイエッターから高い支持を頂いています。今回、そのお客さまからの熱い支持を受けて、新たに3種類のフレーバーを追加することに致しました。

「カレーピラフおにぎり」は、低糖質でありながら食物繊維がレタス3個分相当（※）と豊富で、ブイヨン为基础に、ビーフの旨みとピリッとクミンをきかせた本格的な美味しさがポイントです。また、糖質2gを実現したパン2種類には、パンのモチモチ食感とカリッと香ばしいごまの相性が抜群な「ごまパン」と、野菜の中でも栄養価の高いほうれん草をミックスした「ほうれん草パン」を揃えています。

※：レタスは1個300g、100g当たり食物繊維1.1gとして計算。食物繊維量は「日本食品標準成分表2015年（七訂）」（文部科学省）をもとに株式会社トゥエンティーフォーセブン作成



「ヘルシー×ボディメイク」を実現するサラダボウル

当社とサラダボウル専門店「WithGreen」を運営する株式会社 WithGreenは、共同開発した「247共同開発 スモークチキンとチーズのボディメイクサラダ」を、都内9店舗の「WithGreen」にて2020年9月2日（水）より、2020年10月31日（土）まで発売を開始しております。



当該メニューは、カロリー、糖質、脂質を抑えつつ、たんぱく質が豊富な「ヘルシーとボディメイクの両立」をコンセプトとしたサラダボウルです。満足感のある味付けとボリュームに徹底的にこだわり、糖質制限中でもおいしく食べられる上に、体内の余分な体脂肪を燃焼させながら、筋肉量を落とさず、代謝を上げる働きがあるとされる「たんぱく質」を補給することができます。

今回の共同開発は、既存の低糖質商品のイメージを覆す、味や食べ応え・満足感に徹底的にこだわった低糖質食品を販売する「24/7DELI & SWEETS」と、サラダボウルを日常の食事のひとつにすることで、炭水化物中心で重飲食の多い日本人の身体の健康と美容向上を目指す「WithGreen」で取り組みました。

今後両社は、糖質制限と栄養バランスの取れた食事を提案することで、ジムへ通うことができない働く世代や、外出自粛による運動不足で体型が気になってきた方々に向けて、気軽にボディメイク体験や健康意識を取り入れられるライフスタイルの提供を目指します。

低糖質クロワッサン

低糖質と美味しさの両立をコンセプトに、クロワッサン特有の食感を追求しました。関東に40店舗以上展開するパンメーカーとタッグを組み、プロのパン職人が、四季の気候に応じて生じる温度や湿度の微妙な違いをキャッチしながら、都度適切な生地状態を見極めひとつひとつ丁寧に製造。

手間ひまかけ、27層に重ねて焼き上げた生地によって、パリッとした軽い食感とふんわりした中生地のハーモニーをお楽しみいただけます。これまでの低糖質クロワッサンにはなかった、本格パリパリサクサク感をぜひ味わってください。

また、パンの醍醐味を味わっていただくべく、工場でき焼き上げてすぐに冷凍してお客様へお届けいたします。焼きたての美味しい状態をキープした冷凍状態のままお届けするため、解凍すればいつでも好きなタイミングで焼きたて同然のパンを味わうことができます。



秋のスイーツセット

秋の味覚を使った季節を感じるスイーツを販売開始しました。徹底的に糖質カットし全商品糖質10g以下に抑え、100年の歴史をもつ、ベルギーの老舗チョコレートメーカーがレシピや素材を監修。

旬の素材の味を引き出し、濃厚でしっとりとした美味しいスイーツになるよう1つ1つの工程をしっかりと見直し試作を繰り返して、完成したレシピです。



※：エリスリトールを除く糖質量

低糖質菓子パン

「低糖質なのに、ちゃんと甘くて美味しい」をコンセプトに、菓子パンならではの味覚を追求しました。糖質は最大約81%オフ、カロリーも最大23%オフで、素材ひとつひとつを厳選して、もっちりとした食感や、絶妙な甘さを追求し、定番からトレンドをおさえたものまでわくわくする4種の商品を展開します。

わくわくおいしくて
ちゃんと糖質オフ。

夢のような
絶品菓子パン、
できました。

糖質最大

81%
OFF

カロリー最大

23%
OFF



濃厚チョコたっぷりパン



なめらかカスタードのクリームパン 北海道十勝つぶあんのあんバターパン コク深いピーナツクリームパン



24/7

twenty-four seven Inc.
株式会社「ツエンティーフォーセブン」

低糖質クリスマスケーキ

「ダイエット中でも“最高”に楽しいクリスマスを！」をコンセプトに、低糖質とは思えない華やかな見た目と高級感を追求しました。糖質は1/6カット当たり10g以下で、ひとつひとつ厳選した素材を使い、しっとりとした食感や、うっとりするような甘さに仕上げたクリスマスにぴったりのガトーフローズとブッシュオショコラの2商品を展開します。



ガトーフローズ



ブッシュオショコラ



2021/11期決算見通し



twenty-four seven Inc.
株式会社トゥエンティフォーセブン

24/7
Workout
トウェンティフォーセブン
ワークアウト

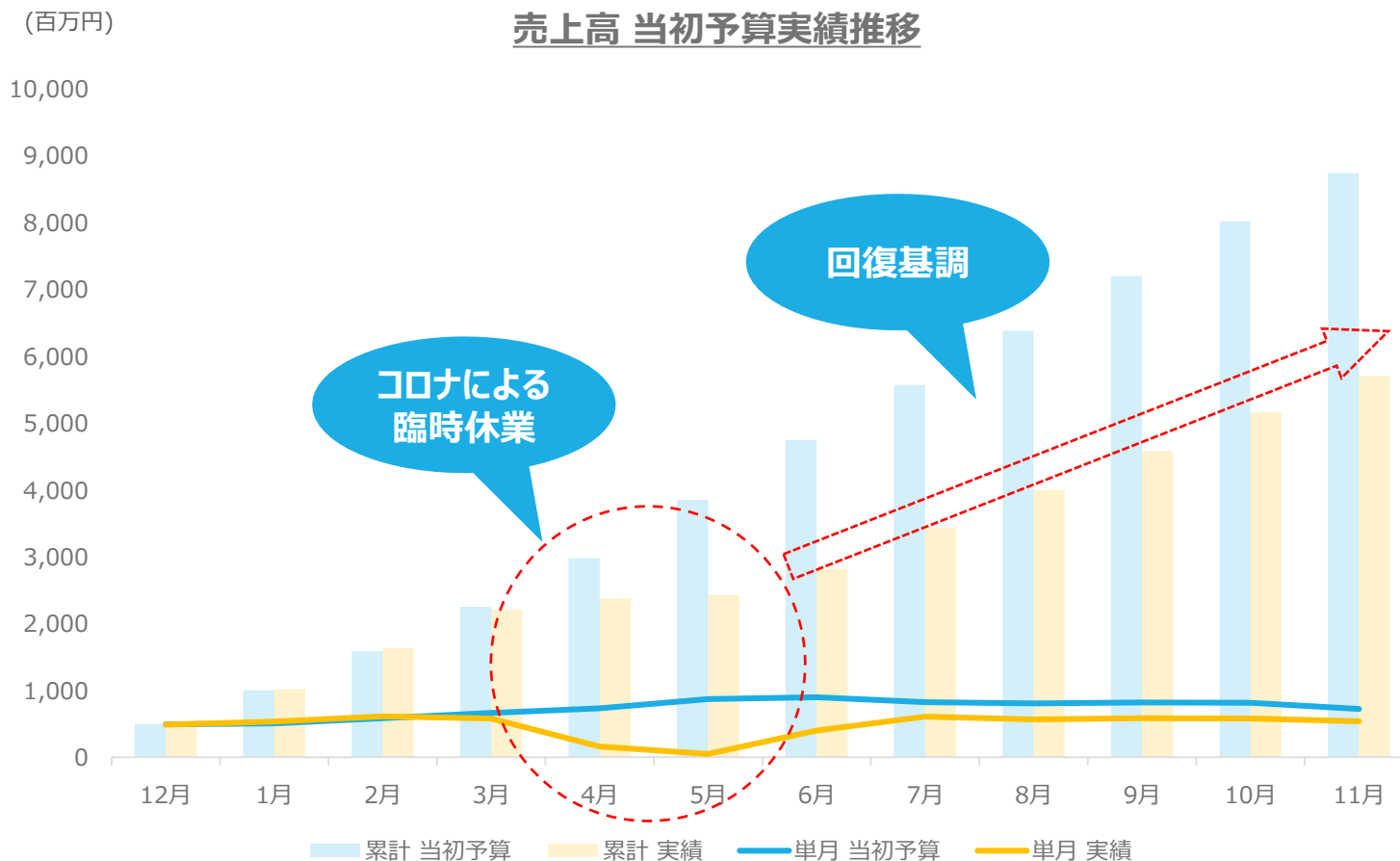
24/7
ENGLISH
トウェンティフォーセブン
イングリッシュ

2021年11月期の業績予想は見通しが立ち次第発表させていただきます

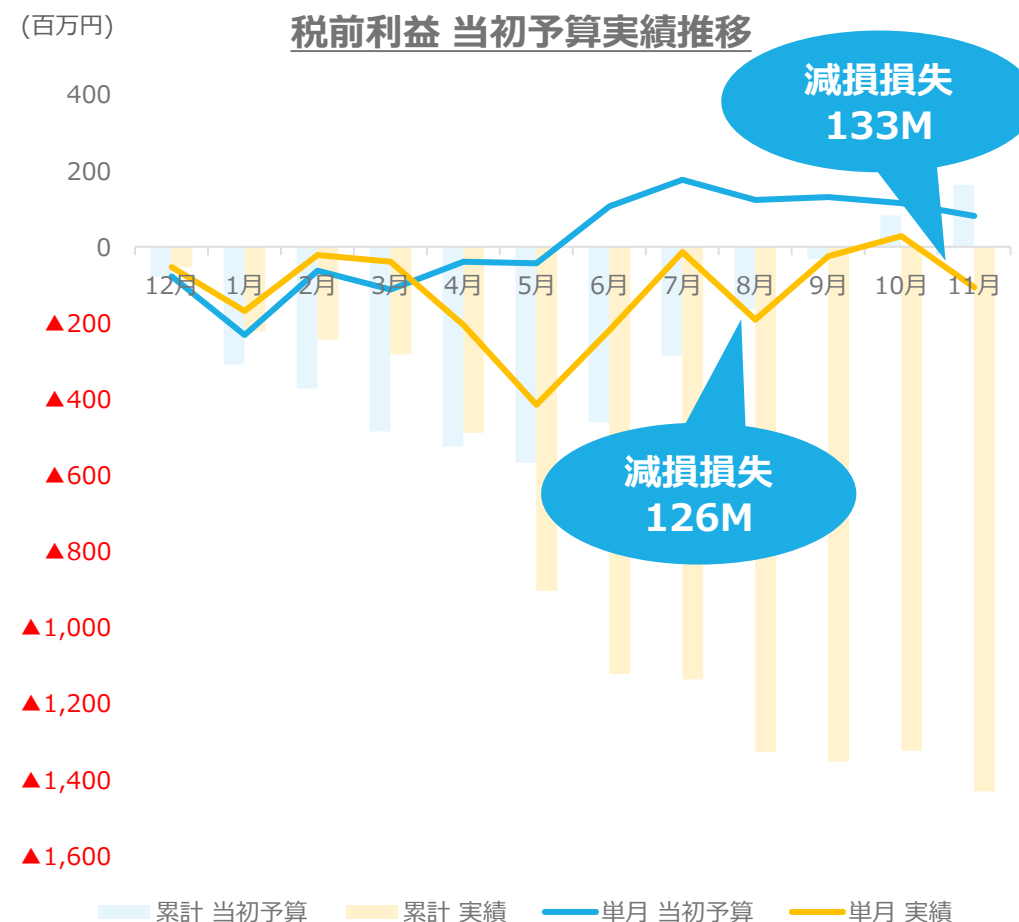
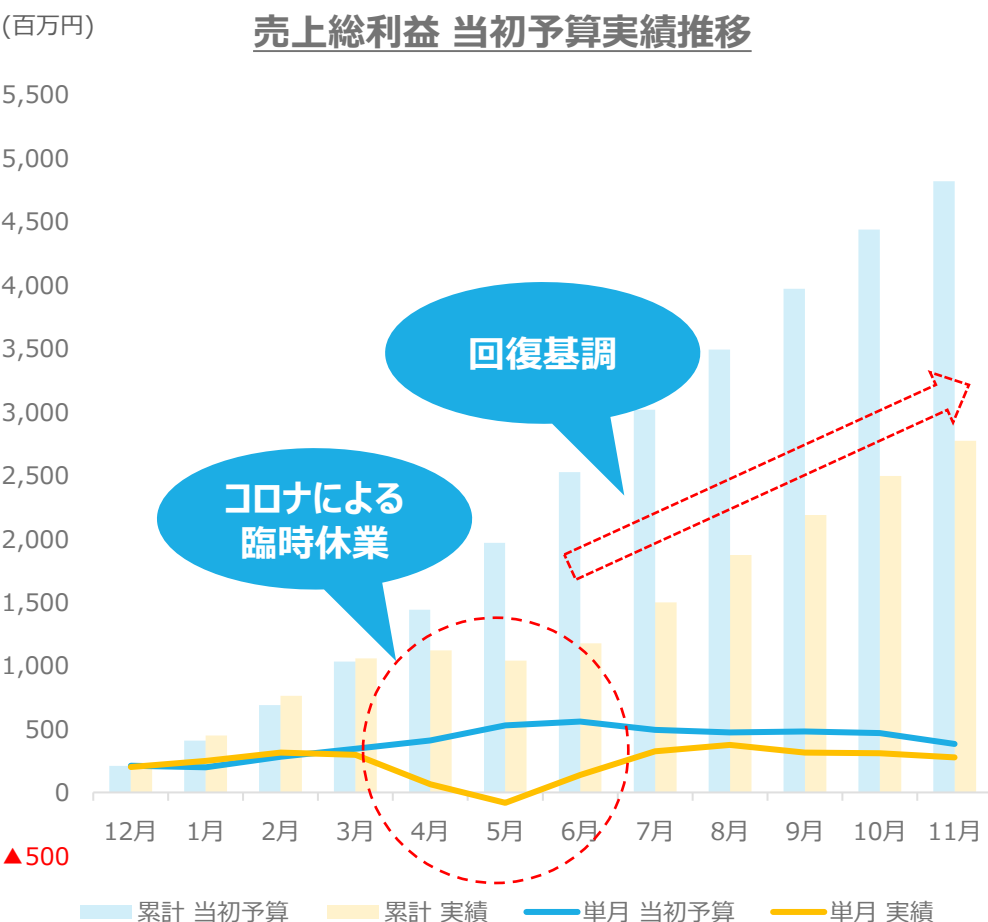
新型コロナウイルス感染症の拡大に対する政府による「緊急事態宣言」の発出及び各都道府県における「施設の休業要請」を受け、2020年4月8日以降、店舗の臨時休業を順次行っておりました。その後、2020年5月10日以降は各都道府県における段階的な「施設の休業要請解除」を踏まえ、感染予防に最大限留意した上で店舗を順次再開し、2020年6月2日には直営全店舗を再開、現時点においてはフランチャイズ店舗も含めて全店舗の営業を再開しております。一方、2021年1月には、感染者数が急増する地域において再び「緊急事態宣言」が発出されたことに伴い、経済活動の自粛を余儀なくされることから、その影響が継続することが予想され、今後の感染拡大、収束時期、収束後の市場及び消費者動向には相当程度の不確実性があります。

以上から、2021年11月期の業績予想については、現時点において合理的な業績予想の算出を行うことが困難であるため未定としております。業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

- 4、5月は店舗の臨時休業により売上高は大幅減少
- 1Qまでは無料カウンセリング申込件数・新規契約数・セッション数が当初予想を上回っており売上高は当初予想を上回るペースで進捗していたが、2Q以降は上記影響により当初予算を下回る結果となった
- 店舗再開後の3,4Qは、1Q程度の売上高まで回復



- 単月では3月まで、累計では4月までは税前利益の当初予想を達成
- コロナの影響により売上高減少、当社の3大コストである労務費、広告宣伝費、地代家賃についてコストのコントロールを図るも年間累計では当初想定を未達



- 当資料は当社の業績及び経営戦略等に関する情報の提供を目的としており、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。
- 当社の将来における事業内容や業績等は、様々な要因により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があります。

〈お問い合わせ先〉

株式会社トゥエンティーフォーセブン
財務経理部

03-6432-4916

corporate_ir@247group.jp